

佐々木市長にまちづくりを問う

一般質問

3月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。(質問順に掲載)



丹政会 森 為次 議員

財政安定化の対策は

合併特例債など 有利なものの活用

市長

問 財政の安定化に向けた方策と、継続可能な財政規模とはどれくらいを考えているのか。また、その財源確保の取り組みの方策と起債の方向性は。

市長 中期財政計画で25年までは215億円から201億円の形の中で基本的に推移したい。また、合併特例債、過疎債など出来る有利なものを活用する中で、財政の安定化を図っていききたい。

一方では繰上償還、市債発行の抑制による公債費の削減、また、職員定数の適正化計画に基づく人件費の削減など、行財政改革を一層推進し財源確保に努める。

問 総合振興計画の推進に向けての現状、目指すまの姿は。

市長 市民ニーズに、より近づけるよう評価・検証し再構築をしながら「いつまでも住みつづけるふるさとづくり」を進めている。また、千年の京都を支えてきた高レベルな農林水産業、ものづくり技術を持つ



豊かな田園が広がる日吉町志和賀地内

た企業、地元そして大学校の工芸、こういったものづくりを一体的に連携する中でまちづくりの大きな柱にしたい。

問 雪害対策、鳥獣被害対策に向けた取り組みは。

市長 除雪経費に加え、除雪車両等の拡充を図るため前年比29・5%増の3270万円、また、高齢者等除雪対策事業に150万円を計上。鳥獣被害対策では捕獲防除施設の事業に前年比71・7%増の1億423万円を計上するとともに、さまざまな手法を検討する中で積極的な対応

応をしていきたい。

問 中学校給食実施に向けて予算が計上されたが、具体的な取り組みは。また、本市らしい給食(地産地消、伝統食、郷土食)のあり方は。

教育長 未実施中学で給食を実施するため、配膳室整備ならびに共同調理場の施設改修にかかる設計委託費と併せ、本市らしい給食のあり方を検討するため食育に関する有識者、保健、医療、農政など関係者で構成する検討組織を設置する。実施時期については予算措置と教育課程などの編成と実施の準備期間をしっかりと見極め、早期にその時期が表明できるように努めた



給食実施に向けて動き出した中学校(園部中学校)

教育長 昨年校長会、教頭会、教務主任会それぞれに諮問、答申を受け、いずれの立場からも一定規模の児童数が確保され、教職員組織が効果的に機能し、子ども同士集団の中で活発に学び合いたくましく生きる力を育むことが出来る学校として再編する必要があると提言があり、今年度、検討組織を立ち上げ具体的な検討をしていく。

今西

旧法務局庁舎前に信号機の設置を

安全対策には十分配慮する

市長

問 旧法務局庁舎を福祉事務所として使用することが決まっているが、本庁の駐車場を利用される事が予想される。シンボルロードに信号機の設置をすべきと考えるが。

市長 周辺には、幼稚園、ハローワークの施設がある

る。安全確保には十分な体制を整えるが、今すぐ信号機を設置する考えはない。公安委員会とも協議し安全性の確保に努める。

新光悦村の企業誘致活動は

問 現在の新光悦村の分譲

仲

障害者グループホームの充実を

計画見込みよりは達成している

市長

問 今年度障害者グループホーム整備のため予算計上された。潜在的にグループホームは不足していると思う。ホームの充実は大きな課題であり、充実のためには、計画的な取り組みが必要であると思うが。

市長 第2期の障害者福祉

計画の中で、23年度末の利用人数を27人と見込んでいます。現在6カ所29人という定員で計画見込みより達成している。単年度の予算であるが、長期的な計画について考えていく。



丹政会 今西 不悖 議員

進ちよく率は67%と聞いている。奨励措置の企業立地促進条例が来年3月で失効となる。今後積極的な取り組みが大事であると考えている。

82%である。未分譲地に対する企業からの問い合わせがある。府と連携しながら早期の分譲完了に向けて努力する。来年3月末までに全て終えることにはならないので、奨励措置も延伸になると考える。

問 伝統工芸大学前から小山東町交差点間の歩道部に安全柵の設置が必要と考えるが。また府道山間部の松枯れなどによる倒木の危険性への対応は。

市長 安全柵は、特に危険な50m間は早期に対応を検討したい。倒木については府と連携を図りながら進める。



日本共産党市会議員団 仲 絹枝 議員

中学校給食の実施時期を明確に

問 中学校給食あり方検討委員会が立ち上げられた。1年かけて地産地消、郷土食や伝統食、食育等について検討するということだが、実施する時期を明確に

するべきでは。

教育長 2月の定例教育委員会において、未実施中学校で学校給食を実施することを決定した。本市らしい中学校給食のあり方を1年かけてしっかり検討していく。ハード・ソフト両面から準備期間をしっかりと

八木駅舎周辺整備について

問 駅舎改築の計画には利用者の声が反映されなければならぬ。駅舎周辺整備の年次計画は。

市長 基本設計をもとにJR西日本と協議に入り、その後工事にかかる協定の締結、詳細設計に入る。八木駅西土地地区画整理事業と一体的な事業推進を図る。